

3 宮崎県農福連携推進センター：『農福連携コーディネーターによる地域密着型マッチング』

宮崎県農福連携推進センターは農業と福祉（主に就労系障害者事業所）の連携促進（マッチング支援）と農福マルシェの開催など行っている。これらの活動を通じ、障害のある方の社会生活力向上と社会参画（収入向上から就業へ）拡大を目指して全県域で活動している。

■ 就労系事業所への訪問面談

R2年度は県内36(県外2)の計38事業所を訪問。各事業所が従事する作業の現状確認と今後の農福連携の可能性を探った。

■ 就労系事業所の施設外就労と受託作業のニーズを集め農業運営体へ取次

施設外就労・委託作業について訪問し説明を行い、分業化や生産性向上の可能性、繁忙期だけの契約でも可能、支援者が同行し指示が伝わりやすい等農福連携のメリットを伝えた。ほとんどの事業所で「仕事の切り出し」を農家さんで行った。(R2年度:26事業所訪問、14事業所で21件のマッチングに至る)

■ 事業所見学会・作業体験会等の準備と実施(マッチング事例)

1. 宮崎市の長倉樹苗園は山林用ペーパーポットによるコンテナ杉苗づくりを産学連携(日本甜菜製糖株式会社+宮崎大学)のもと長年研究開発され事業化したが、労働力確保に課題があったことから障害者雇用の相談を受け、見学会・作業体験会を複数回実施しR2年より施設外就労受け入れ開始。「作業精度・生産量も上がり戦力になっている。分散作業が可能となり計画的に仕事ができるようになり助かっている」などの評価を得た。

2. 延岡市はサフランの地域ブランド化を生産農家・地元大学薬学部・延岡市(農畜産課・農福連携担当)の3者で進めているが、支援先のB型事業所が施設外就労で従事。同市は延岡市農業労働力確保対策協議会があり農福連携に力を入れている。(その他、ニラの受託加工作業、昨年度はキャベツ畑の石ころ除去作業など施設外就労をマッチング)

■ 請負契約締結に向けた各種助言

マッチング案件として、請負契約締結に向けた各種助言。

■ 各関係機関等との連携や農業関係団体との連携

県農政課農福連携担当者会議出席。福祉事業所の依頼を受け農業委員会出席。
宮崎市自立支援協議会の就労支援部会出席。

■ 農福マルシェ

宮崎市内ショッピングモールにて年3回開催、参加事業所や連携先農家さん等の農産物・加工品等を販売。R2年度実績。

設置:宮崎県 / 主管:県障がい福祉課

受託:宮崎県中小企業家同友会

(執筆:宮崎県農福連携推進センター

農福連携コーディネーター 興梠 理)

